

西宮市立西宮高等学校創立百周年記念事業

食堂リニューアルに伴う除幕式



令和3年10月29日(金) 15:30~16:00 於：SYOUHAKU i HALL

1 開式の辞

2 除幕



3 式演奏(吹奏楽部:校歌)



4 松柏会(同窓会)会長挨拶



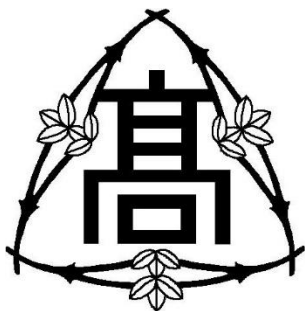
5 生徒代表お礼



6 学校長お礼



7 閉式の辞



西宮市立西宮高等学校校歌

竹友 藻風 作詞 長谷川 良夫 作曲

- 一 六甲の山辺の空高く
若葉かがよう宮の森
松の並木の色冴えて
夙川堤風清き
ここに正義と人道の
光あまねく満ちわたる
学びの舎のとうとさよ
仰げ、われらのこの舎を
- 二 茅渚の浦曲の波遠く
かすみ棚曳く紀路の嶺
古き台場のかけ見えて
西浜磯路砂白き
ここに平和と友愛の
命みなぎり照り匂う
学びの園のめでたさよ
歌え、われらのこの園を

西宮市立西宮高等学校創立百周年記念事業食堂リニューアルに伴う除幕式

伊藤博章松柏会（同窓会）会長 挨拶

令和3年10月29日(金)15:30

於：SYOUHAKU i HALL

まずは、現役の生徒さんや保護者の方から沢山のご寄附をいただき、ありがとうございます。心より感謝申し上げます。銘板の「一般」の中の多くが保護者の皆さんです。ただ、銘板には5万円以上のご寄附をいただいた方のうち御芳名の掲載に承諾された方のみを掲載しています。

本校の歴史についてお話をさせていただきます。

私の通ったのは、香櫨園浜に近い建石町にある、今は西宮香風高校があるところの校舎でした。当時の校長は、井貫軍二さんという方で、昭和41年に3か月のアメリカ・ヨーロッパへ海外視察旅行をなさり、（高座町に移転する）新校舎の建設計画を立てられました。

井貫校長は、帰国後、帰国報告を兼ねて当時の教育長と議論し、説得して新校舎建設に取り入れた事は、立派な図書館建設、実習助手を図書館に配置。当時としては、おそらく日本一のものでした。また、一学年全員が収容できる小講堂を建設しました。廊下もアメリカ仕様で大変広い幅でした。これらは全て設計変更までして実施を試みたもので、当時としては大変珍しいものでした。

次に、高座町に移転した校舎の話ですが、済川校長からお聞きした話では、新池の半分を埋め立てて、その上に皆さんのHRがある校舎が建てられました。埋め立て地でしたので、1995年の阪神淡路大震災で校舎が倒壊状態になり、現在の新校舎が建てられました。体育館とC棟は耐震工事で対応しました。再建に尽力されたのは、当時の大森良剛第10代校長（本校7回生）でした。当時の市役所の管理部長も池田壹和さんという、本校12回生の方でした。その方々のご尽力があって、この新校舎が完成しました。食堂と小講堂のクーラーは、仮設校舎に設置されていたものを活用しています。

このSYOUHAKU i HALLは、食堂としての利用のみならず、アクティブラーニングの場や学年集会等にも利用できることを期待して、このホールをリニューアルしました。机や椅子が新しくなったら、そのような活用の仕方を期待しています。